

平成 31 年 1 月 25 日

独立行政法人福祉医療機構

NPO リソースセンター長 茂木 正宏

NPO 振興課長 福井 正崇

(電話) 03-3438-9942 (FAX) 03-3438-0218



社会福祉振興助成事業（WAM 助成）事業評価報告書について

独立行政法人福祉医療機構（以下、WAM）では、福祉制度の狭間に対応するNPO団体などの民間福祉活動を助成金で支援する社会福祉振興助成事業（以下、WAM助成）を行っています。また、WAM助成は、事業評価に取り組むことで、事業の改善や優良事例の普及を図って参りました。

今般、平成 30 年度に実施した助成事業の評価について、審査・評価委員会において「事業評価報告書」が取りまとめられましたので、公表いたします。

1 WAM助成の実績及び評価の概要

- 平成 29 年度は 152 件の事業に助成し支援対象者延べ 17 万 9,879 人に支援が行き届きました。事業評価の結果、7 件が「特に優れた助成事業」（裏面に掲載）として評価されました。
- 平成 28 年度事業 125 団体を対象にしたフォローアップ調査では、助成期間終了後も約 9 割の事業が継続され、連携団体数は平均 1.8 倍に増加していました。

【平成 29 年度 WAM 助成実績】



- 事業評価報告書 -

● 目次

1. はじめに (P 1)
2. WAM 助成とは (P 2)
3. WAM 助成の事業評価 (P 3)
4. ヒアリング評価結果 (P 4)
5. 平成 29 年度助成実績 (P 5)
6. 特に優れた事例 (P 6)
7. 優良事例一覧 (P 20)
8. 平成 29 年度事業を振り返って (P 21)
9. モデル事業を振り返って (P 24)
10. 今後の WAM 助成の充実に向けて (P 26)
11. (参考) フォローアップ調査結果 (P 28)
12. (参考) 2019 年度 募集要領等 (P 32)

※ 事業評価報告書は、WAMのホームページに掲載しています <<http://www.wam.go.jp/hp/>>

2 特に優れていると評価された事業について

平成 29 年度 WAM 助成の事業評価において、「特に優れている」と評価された事業は、以下の 7 事例です。WAM ホームページにおいて事例の詳細を掲載しています。

団体名・事業名	事業概要
1. 特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター <北海道> 「困窮する若者の生活支援・住居確保推進事業」	住居確保が難しい若者や生活破綻した若者を対象に、住居を提供し、生活訓練・就労支援を行うとともに、保証人を立てられない若者が地域内で住居確保できるよう、支援団体・不動産会社・保証会社等を対象に研修会を開催し、連携体制の構築を目指した事業
2. 特定非営利活動法人 STORIA <宮城県> 「困窮家庭の小学生への地域連携の食育事業」	子どもの貧困の連鎖を断ち切ることを目指し、運営する居場所において、地域と協働して温かい食事による精神的な安定を図り、子どもが簡単な調理スキルを身につけることができる食育や、連携企業等の理解を得るため成果指標の策定に取り組んだ事業
3. 特定非営利活動法人 あそびっこネットワーク <東京都> 「子育て・発達・遊び支援ひろば事業」	発達が心配な子ども、育児ストレスがある親子を対象に、「おひさま相談ひろば」を実施するとともに、研修会を通じてスタッフの専門性の向上に取り組んだ事業
4. 特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク <長野県> 「暮らしと地域再生プロジェクト事業」	外国人や独居高齢者、障害者、生活困窮者等の要支援者が多く居住する松本市内の団地等の住民を対象に、地縁組織のキーパーソン講座を開催するとともに、相談会、戸別訪問等の実施により、地域の対応力の向上を目指した事業
5. 特定非営利活動法人 再非行防止サポートセンター愛知 <愛知県> 「再非行防止の社会自立促進ケア事業」	少年院出院後「自立準備ホーム」に暮らし、自立を余儀なくされた元非行少年が「自立準備ホーム」退所後も継続して暮らすことができる「社会自立推進アフターホーム」の新設や、元非行少年が社会自立に向かうためのサポートの充実・強化に取り組んだ事業
6. 認定 NPO 法人 四つ葉のクローバー <滋賀県> 「四つ葉アフターケア事業」	児童養護施設退所後の若者が貧困の連鎖に陥らないよう、自立援助ホーム退所後のアフターケアを、専門員の配置や行政・福祉機関・中小企業家同友会等とのネットワークを構築して取り組んだ事業
7. 認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 <兵庫県> 「多世代共生型居場所 創出・運営支援事業」	神戸市内において、「多世代共生型居場所」の普及を目的に、講座やイベントを通じた居場所の創出支援及び運営支援に取り組むとともに、市内の居場所データ集の発刊を通じて地域資源の可視化に取り組んだ事業

事業評価報告書は、WAM のホームページに掲載しております。

『WAM 助成 事業評価報告書』で検索

URL (http://www.wam.go.jp/hp/guide-jyosei-project-tabid-179-2/guide-jyosei-project-value_report-tabid-180/)